

任期後半 『私の抱負』

小池 勇

議員とは辛い仕事である。多様な価値観を持つ町民に対して、とにかく答えを決めなければならない。足して2で割ることもあれば、片方を否定しなければならないこともある。どの道、全ての人に褒められることはない。後世の批判に耐えられるか、おののきながら生きるしかないのだ。

過去の遺物は概ね清算された。人口減少が確実になった今、地域間のアンバランスをどうするか。10年後、20年後のビジョンが求められる後半である。

宮下 伸悟

よその猿真似ではない「誰のための議会改革か?」という問いへの答えが、この2年間の議論でやっと少しずつ見えてきました。全員協議の場などで何度も訴えてきたことですが、議会改革において「蛇口を増やす」ことよりも重要なことは、「水を求めて集まる人を増やす」ことです。「興味を持ってもらえない議会に町民の声は集まらない」という根本を念頭に置きながら、互いが一議員として切磋琢磨する。そんな議会の実現こそが、町民全体の利益につながる真の議会改革であると信じます。

加々見 保樹

初心に戻り、住民の代表者であることを自覚し行動します。

議員には執行権がないので、行政のチェックが一番大事な仕事と認識しています。特に納税者の代表として、住民の立場に立った政策は支持しますが、そうでない政策に対しては鋭く追及する姿勢を常に持ち続けます。そのためには住民のニーズが何かを調査分析し見極めて、議会での質問・討論を活発に行います。

町民の皆様とともに歩む議会を目指し、議会改革が進み始めました。皆様の声を、まちづくりにつなげたいと思います。

どうぞ、富士見町議会へご意見をお寄せください。

【No.129】平成25年6月1日発行

発行：富士見町議会

編集：議会広報編集委員会

〒399-0292

長野県諏訪郡富士見町落合10777

TEL 0266-62-9403 FAX 0266-62-9320

E-mail gikai@town.fujimi.lg.jp

平出 隼仁

2年という時間は瞬く間に過ぎ去り、残り時間も半分となりました。二元代表制の元、町民の付託に応える議会として、議会改革に着手。迅速な意思決定が可能になるよう「通年議会」に向けて、条例制定を進めています。

「議会は誰のために行動するのか」を常に考え、町民の「幸福度」が高まるよう努めなければなりません。当初、抱負で掲げた「若者の人口増」及び「町の財務体質改善」を中心に、後期も鋭意努力いたします。

小池 博之

「地方分権改革」の流れが強まる中で、議会は町民の目線に立ってその機能を十分に生かさなければなりません。地方自治の基本「二元代表制」の一端を担うものとして、首長の施策をチェックするに留まらず、政策の提言や議員立法に、さらに積極的に取り組みます。

議会改革については、スピード感を持って臨みます。議員としてなすべき改革は「強い首長」「弱い議会」の立ち位置を変えて、議会全体の底上げを図ることです。

委員会・広域議会等の構成

任期：H25.5.17～H27.4.30

総務経済常任委員会

〈委員長〉五味平一 〈副委員長〉小池 勇

〈委員〉三井新成 小林市子 平出隼仁

社会文教常任委員会

〈委員長〉名取武一 〈副委員長〉宮下伸悟

〈委員〉小池博之 佐久祐司 加々見保樹

議会運営委員会

〈委員長〉小林市子 〈副委員長〉小池博之

〈委員〉五味平一 加々見保樹 名取武一

議会広報編集委員会

〈委員長〉佐久祐司 〈副委員長〉宮下伸悟

〈委員〉小池 勇 平出隼仁

諏訪広域連合議会議員

織田昭雄 加々見保樹

諏訪南行政事務組合議会議員

名取武一 宮下伸悟 佐久祐司

南諏衛生施設組合議会議員

名取武一 五味平一 宮下伸悟

小池博之 佐久祐司 加々見保樹